



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場会社名 株式会社 クラレ  
コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 IR・広報部長  
四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 伊藤 文大  
(氏名) 島本 智之

TEL 03-6701-1071

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	89,921	2.5	15,815	26.2	15,554	29.8	9,341	63.9
23年3月期第1四半期	87,715	20.3	12,534	624.5	11,983	692.2	5,699	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 14,309百万円 (605.3%) 23年3月期第1四半期 2,028百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	26.82	26.78
23年3月期第1四半期	16.37	16.34

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	516,853	357,889	68.2
23年3月期	507,328	346,825	67.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 352,414百万円 23年3月期 343,105百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	13.00	—	14.00	27.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		16.00	—	17.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	5.1	30,000	17.8	29,000	16.0	17,000	22.2	48.81
通期	400,000	10.1	60,000	13.0	58,500	14.6	34,000	18.3	97.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

なお、第2四半期連結累計期間の連結業績予想は上方修正していますが、通期の連結業績予想につきましては年初予想値を表示しており、今回見直しは行っていません。第2四半期連結決算時に見直しを行います。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	382,863,603 株	23年3月期	382,863,603 株
24年3月期1Q	34,578,463 株	23年3月期	34,611,169 株
24年3月期1Q	348,267,754 株	23年3月期1Q	348,095,110 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表等 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 追加情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)の日本経済は、震災の影響と原燃料価格の高騰により厳しい状況が続きましたが、欧米・新興国の経済は総じて堅調に推移しました。こうした中で当社グループは、地震により停止した鹿島事業所の早期再開を果たし、また原燃料価格上昇に対応した価格改定を実施してきました。さらに中期アクションプラン『GS-Twins』に掲げた事業拡大、成長に向けた積極的な施策も順次実行しています。

この結果、売上高は前年同期比2,206百万円(2.5%)増の89,921百万円、営業利益は3,281百万円(26.2%)増の15,815百万円、経常利益は3,571百万円(29.8%)増の15,554百万円、四半期純利益は3,641百万円(63.9%)増の9,341百万円と増収増益となりました。

### セグメント別の状況

#### [樹脂]

中国をはじめとするアジア市場に加え、欧米でも需要が好調に推移しました。その結果、売上高は38,865百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は14,088百万円(同8.3%増)となりました。

- ①ポバール樹脂は、原燃料価格高騰に伴う価格改定に重点的に取り組みました。光学用ポバールフィルムは液晶パネルの堅調な需要を背景に伸ばしました。PVBフィルムは、欧州建築用途が好調に推移しました。
- ②EVOH樹脂<エバール>は、欧米の自動車用途、食品包装用途が好調に推移しました。さらにアジアでは、特に中国で食品包装用途を中心に一層の伸びを示しました。

#### [化学品]

一部の事業が震災による生産停止の影響を受けましたが、総じて堅調に推移しました。さらに原燃料価格高騰に伴う価格改定に重点的に取り組みました。その結果、売上高は18,997百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は2,534百万円(同195.9%増)となりました。

- ①メタクリル樹脂は、導光板向け成形材料が好調に推移し、収益が拡大しました。
- ②熱可塑性エラストマー<セプトン>、耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、震災による鹿島事業所の減産を国内外の他事業所における増産などによりカバーしました。化学品は、震災影響により一部の製品で出荷制限を余儀なくされましたが、ファインケミカルは国内・アジアを中心に堅調に推移しました。
- ③メディカルは、平成23年4月をもって事業統合した株式会社ノリタケデンタルサプライの歯科材料事業が加わり、収益が拡大しました。

#### [繊維]

売上高は14,033百万円(前年同期比4.2%減)、営業利益は580百万円(同26.3%増)となりました。

- ①ビニロンは、一次電池セパレータ用途、自動車用ブレーキホース用途の需要が拡大しました。また、アスベスト代替のFRC(繊維補強セメント)用途も欧州建築市場を中心に需要が拡大しました。
- ②人工皮革<クラリーノ>は、環境対応型新プロセス品の需要が靴・インテリアなどで拡大しました。なお、当事業は抜本的な事業構造の改革に取り組んでおり、汎用品の生産は中国合弁会社へシフトし、高付加価値品については国内の新プロセスへの集約を推進しています。
- ③不織布<クラフレックス>は、ウェットワイプが堅調ながら、業務用カウンタークロスや産業用マスクの需要が停滞しました。

#### [トレーディング]

各事業の業績が順調に拡大しました。その結果、売上高は29,003百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は840百万円(同38.5%増)となりました。

#### [その他]

活性炭は、浄水・キャパシタ(蓄電装置)用途などで好調に推移しました。それ以外の事業もおおむね堅調に推移しました。その結果、売上高は14,816百万円(前年同期比13.5%増)、営業利益は1,582百万円(同48.1%増)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は、堅調な欧米・新興国経済を背景に、全体として順調に推移したことから、第2四半期連結累計期間について、下表のとおり連結業績予想を修正することとします。一方、通期の連結業績予想については、不透明な世界経済の先行きに鑑み、現時点では年初予想値を変更せず、第2四半期連結累計期間の業績確定時に見直しを行います。

平成24年 3月期 第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正

(平成23年 4月 1日～平成23年 9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (平成23年 4月27日)	190,000	26,500	25,500	14,800	42	50
今回修正予想	190,000	30,000	29,000	17,000	48	81

<ご参考>平成24年 3月期 第2四半期連結累計期間セグメント別業績予想数値

(単位：億円)

	売上高	営業利益
樹脂	800	280
化学品	410	50
繊維	290	5
トレーディング	580	15
その他	320	30
調整額	△500	△80
合計	1,900	300

2. サマリー情報（その他）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しています。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しています。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,221	30,386
受取手形及び売掛金	76,135	77,473
有価証券	127,128	127,102
商品及び製品	40,534	43,177
仕掛品	8,122	8,492
原材料及び貯蔵品	12,732	13,238
繰延税金資産	6,046	4,460
その他	6,475	8,431
貸倒引当金	△802	△844
流動資産合計	310,594	311,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,701	33,860
機械装置及び運搬具（純額）	79,216	78,122
土地	17,976	18,623
建設仮勘定	11,867	17,169
その他（純額）	2,477	2,470
有形固定資産合計	145,238	150,245
無形固定資産		
のれん	12,725	14,748
その他	2,842	2,933
無形固定資産合計	15,568	17,681
投資その他の資産		
投資有価証券	19,577	19,662
長期貸付金	1,189	1,870
繰延税金資産	4,725	4,584
前払年金費用	6,243	6,139
その他	4,378	4,938
貸倒引当金	△186	△188
投資その他の資産合計	35,926	37,006
固定資産合計	196,733	204,933
資産合計	507,328	516,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,308	32,413
短期借入金	12,738	12,368
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	10,369	4,081
賞与引当金	6,670	4,096
災害損失引当金	300	170
その他の引当金	1	1
その他	15,825	20,751
流動負債合計	86,214	83,884
固定負債		
長期借入金	43,035	42,423
繰延税金負債	4,918	5,006
退職給付引当金	14,641	15,126
役員退職慰労引当金	167	145
環境対策引当金	1,122	1,122
資産除去債務	2,222	2,274
その他	8,179	8,978
固定負債合計	74,288	75,079
負債合計	160,502	158,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,147	87,147
利益剰余金	225,743	230,201
自己株式	△40,856	△40,818
株主資本合計	360,989	365,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,280	2,590
繰延ヘッジ損益	△14	△8
為替換算調整勘定	△19,916	△15,415
年金負債調整額	△233	△237
その他の包括利益累計額合計	△17,884	△13,071
新株予約権	560	779
少数株主持分	3,159	4,695
純資産合計	346,825	357,889
負債純資産合計	507,328	516,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	87,715	89,921
売上原価	58,808	57,806
売上総利益	28,906	32,115
販売費及び一般管理費		
販売費	4,502	4,414
一般管理費	11,869	11,885
販売費及び一般管理費合計	16,372	16,299
営業利益	12,534	15,815
営業外収益		
受取利息	105	95
受取配当金	267	356
持分法による投資利益	17	45
その他	304	203
営業外収益合計	695	701
営業外費用		
支払利息	294	263
出向者労務費差額負担	227	211
その他	725	487
営業外費用合計	1,246	962
経常利益	11,983	15,554
特別利益		
持分変動利益	—	845
特別利益合計	—	845
特別損失		
災害損失	—	910
災害損失引当金繰入額	—	60
投資有価証券評価損	571	498
減損損失	—	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,548	—
構造改善特別損失	154	—
特別損失合計	2,274	1,487
税金等調整前四半期純利益	9,708	14,912
法人税、住民税及び事業税	3,611	3,806
法人税等調整額	368	1,608
法人税等合計	3,979	5,415
少数株主損益調整前四半期純利益	5,728	9,496
少数株主利益	29	155
四半期純利益	5,699	9,341



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,728	9,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,431	309
繰延ヘッジ損益	25	6
為替換算調整勘定	△2,293	4,501
年金負債調整額	—	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△3,700	4,812
四半期包括利益	2,028	14,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,999	14,153
少数株主に係る四半期包括利益	29	155

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	樹脂	化学品	繊維	トレーディング	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	28,745	11,345	9,959	27,682	77,733	9,981	87,715	—	87,715
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,157	7,321	4,696	869	21,045	3,066	24,111	△24,111	—
計	36,902	18,667	14,655	28,552	98,778	13,048	111,826	△24,111	87,715
セグメント利益	13,005	856	459	606	14,928	1,068	15,997	△3,463	12,534

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△3,463百万円には、セグメント間取引消去△85百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△3,377百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	樹脂	化学品	繊維	トレーディング	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	30,522	11,588	9,924	28,072	80,107	9,813	89,921	—	89,921
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,343	7,409	4,109	931	20,792	5,002	25,795	△25,795	—
計	38,865	18,997	14,033	29,003	100,900	14,816	115,716	△25,795	89,921
セグメント利益	14,088	2,534	580	840	18,043	1,582	19,626	△3,810	15,815

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△3,810百万円には、セグメント間取引消去△121百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△3,689百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「化学品」セグメントにおいて、歯科材料事業に係わる企業結合に伴い、当第1四半期連結累計期間にのれんが1,483百万円発生しています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。